

## トウヒタマカイガラモドキなど

エゾマツ、トドマツなどの枝先につくカイガラムシ。洋梨形で、黄褐色。白い綿状の物質を分泌する。体長は最大4mm弱。本種と思われるカイガラムシの多発がトドマツ人工林で1例報告されている。



1. カタカイガラムシの1種。

1970/7/9. 当麻町のトドマツ人工林。

### トウヒタマカイガラモドキ

【学名】 *Physokermes jezoensis*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , カタカイガラムシ科 (Coccidae)

【分布】 北海道, 本州; サハリン。

【宿主】 エゾマツ。

### カタカイガラムシの1種 (写真1) (文献1971)

【学名】 *Physokermes* sp.

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , カタカイガラムシ科 (Coccidae)

【分布】 北海道。

【宿主】 トドマツ。

### 【生態】

トウヒタマカイガラモドキの発生はたぶん年1回, 孵化時期は6月中下旬, 主に下枝の前年枝や前々年枝につき, 芽鱗下に頭部を突っ込んで吸汁するといわれている。

### 【その他】

1970年頃, 道央のトドマツ人工林でカタカイガラムシの1種の多発が観察されている。当時, モミコスジオビハマキがトドマツに多発しており, その防除のため薬剤散布が実施されていた。薬剤散布により天敵類が減少し, カイガラムシの多発を引き起こしたと推察されている。

【文献】

1971. 上条一昭, 鈴木重孝. トドマツの大害虫コスジオビハマキ. 光珠内季報, 7:2-14. (トドマツ人工林でのカタカイガラムシの1種の発生報告)

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 寄主の解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

トウヒタマカイガラモドキなど kaigara/tohitama/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.  
musi.JPG

「写真1」 上条一昭, 北海道立林業試験場, 1970.